

特定非営利活動法人チャイルドライン「もしもしキモチ」

〈子どもの虐待防止月間に合わせた子ども電話相談広報強化事業〉

— 令和3年度補助額：194,541円—

団体紹介

チャイルドラインは、18歳までの子どものための相談先です。チャイルドライン支援センター（東京）を中心に、全国68の市民団体が連携し、ネットワークを活かして、毎日、電話・オンラインチャットで子どもたちの「声」を受け止めています。「もしもしキモチ」は2002年1月に設立され、認定NPO法人にも認定されています。



【広報カード配布準備の様子】



【カードを紹介する新聞記事】

補助事業概要

コロナ禍の中で、中・高生（特に女性）の自殺者が過去最悪を記録している状況があり、チャイルドラインは11月の全国児童虐待防止月間に合わせて、チャイルドラインの周知キャンペーンを実施しました。

当法人では、キャンペーンの一環として広報用のポスター・カードを作成し、ポスターは、福岡市立の小・中・高等学校、特別支援学校に加え、私立小・中学校240校を対象に配布し、対象学校の生徒に向けて約16万枚のカードを配布しました。令和3年度は、電話で1,247件、チャットで89件の着信がありました。